



美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校
すすんで学び行動しよう
ぎぶあっぴしない

第 15 号
令和5年11月10日発行
美杉中学校長

「差別をなくす強調月間」

三重県では、11月11日～12月10日までの1か月間を「差別をなくす強調月間」とし、すべての人の人権が尊重される社会の実現をめざし、人権意識の高揚に向けた啓発活動などに取り組んでいます。本校においても、この時期にあわせて『人権』や『差別』について考える機会を設けています。

≪1年生≫ 中学校区人権フォーラム ～小学校6年生と中学校1年生との意見交換～

11月8日（水）午前、美杉中学校図書室で行いました。「ヒューリアみえ」の原田朋記さんにお越しいただき、「自分の立つ位置を変える～自分と向き合うことからはじめませんか?～」と題し、原田さんご自身の体験から考えたことなどを講演していただきました。その後、グループで、いじめや差別が起こった時、自分はこういった立ち位置で、考え、行動すべきか、また、そういった問題が起こらないようにするためには日ごろからどうしていけばいいのかについて、意見を出し合いました。意見交流では中学校1年生がリードしてすすめました。「見て見ぬふりをしない」「自分の価値観、当たり前を押し付けない」などの意見が出されました。



≪3年生≫ 出会い学習「いのち」について考える

10月30日（月）。3年生では、今年も狩猟家・農師である古田さんをお招きし、『いのち』について考える機会をつくっていただきました。

11月8日（水）には、「ライフプラン」学習として、三重県立看護大学の杉山泰子先生にお越しいただき、「いのちのつながりと男女のからだ」「子どもを産むこと、育てること」という2つのテーマでお話をしていただきました。

男女のからだについて、妊娠・出産・人工妊娠中絶・避妊について。また、子どもが生まれたときの親の思い、喜び、責任について学ぶことができました。



ちょっと考えてみよう

いじめや差別に限らず、気づかないうちに他人に嫌な思いをさせていることはないでしょうか。世の中では、「ハラスメント」と言われることがたくさんあります。その中で、中学生のみなさんでもやってしまいがちなものに「スメルハラスメント」があります。「スメル」とは「匂い」「香り」のことです。大人であれば、香水や整髪料、化粧品が挙げられますが、中学生のみなさんであれば、シャンプーや制汗剤、洗剤や柔軟剤が考えられます。特に、シャンプーや洗剤・柔軟剤は同じものを使っている家族では全く気にならないものですが、そうでない人からすると、意外と気になるものです。自分はどうかな?と、一度考えてみてください。